吾妻・大沢下り

記　Ｔ野

2019年3月2日
メンバー　：　Ｔ野・Ｎ井・Ｈ口・Ａ原・Ｔ中Ｍ
（天元台スキー場積雪：300ｃｍ）

いつものことだが、今回も事前の天気予報がころころ変わり、当初予定していた奥利根の雨ガ立はキャンセル、予報の良い小野川温泉ＢＣで吾妻と安達太良の日帰り２本に落ち着いた。初日は大沢下り、ここは1987年に初めて訪れて以来今回で5回目だ。5回も来ていると過去にはそれなりに失敗もある。（強風でメンバーのシールとストックが飛ばされたり、ルートを間違えたり・・・）だいぶ勉強させてもらっているので今回はスッキリと走破したいものだ。では報告です。

昨晩は深夜の高速を頑張って走って大沢駅で仮眠。待合室がちょうど5人収容可能。ただ、ここはトイレがない。さらに、朝一番の7:50発の列車に乗車すると、米沢駅でのバスの接続がすごくタイトで、ここでも用を足している時間はない。さらに、ロープウェイ駅でも9:00発に乗ろうと思ったら、チケットを購入したりで忙しく、ここでも用は足している時間はない。ロープウェイ終点でようやく解禁となるが、何しろ便器が少ないのでここでも争奪戦。最初から下品な話で恐縮だが、人によっては結構深刻なのでそれなりに対策が必要です。仮眠場所を大沢駅ではなく、どこかトイレのあるＰＡかＳＡ、道の駅等を探しておくことをお奨めします。いいところを見つけたら私にも教えて！！

また最近、高速が米沢まで通じたことで時間も短縮できて意外に近く、便利になった反面、高速を出てからのコンビニが逆方向に500mほど走ったところにあるファミマ１軒のみなので、万が一に事を考えると行動食などの買出しも事前に済ましておいた方が良いでしょう。

さて、このような忙しい朝を何とかこなしてリフトを3本乗り継ぐと、順調にいけば10:00頃には歩き始められる仕掛けになっている。我々もこのルーチンを無事にこなして9:50に出発。中大嶺を目指す。しかし、歩きだしてすぐ私にアクシデントが・・・。急な一歩を登ろうとしてシールが滑り転倒。運悪くポールに右手親指を突いてしまい、一瞬指が曲がってはいけない方向に曲がったような・・・思わず目から星が出る。「痛てぇー！！」、指が痛くて曲がらない。ひどい突き指か、もしかしたら捻挫したかも・・・。（後日、医者に診てもらったところ骨折と判明。今、非常に不便なギブス生活になってます。）幸先悪いスタートになり初っ端からへこむ。

■写真上　大沢駅から7:50発一番列車に乗車。
■写真中　天気に恵まれて天元台スキー場を出発。
■写真下　霧氷が美しい！！

10:22、中大嶺着。すぐ先の人形石までシールで行ったが、雪が締まっている今回の状況なら中大嶺でシールをはがしても問題なかったような気がする。人形石からは短いが快適な滑降で1860mピークとの鞍部まで滑る。広い斜面で吾妻の穏やかな山脈の真っただ中の滑降はロケーション最高！！。

ここで再びシールを張って明月荘までシールで歩く。この辺り、非常に緩いアップダウンはあるがウロコ板ならシールは不要で楽しいところだと思う。シールで歩く我々にとっては思いの外長く感じた。明月荘は意外とわかりづらく、かなり近づかないとわからない。視界とトレースがないと、きっと苦労すると思う。明月荘11:56着。ここまで約2時間、まずは予定通りだ。中に入って大休止、豆大福とミルクティーで栄養補給。

12:32、明月荘出発。少しシールで歩き、傾斜が出てきたところでシールを剥がして滑降開始！！クジラの大斜面はあっという間に通過して渋川を右に確認しながら左岸の尾根を滑っていく。徐々に樹林が濃くなるが忠実に尾根を滑った方が良い。調子に乗って快適な方に滑って行くと渋川ホイホイに引き込まれて登り返すことになるので要注意だ。やがて樹林が濃くなるが、逆に雪質は良くなり快適に滑って行く。樹林が濃い場所には道標も細目に付いているので、しばらく道標が見当たらない場合はルートからそれている可能性が高いので止まって現在地を確認した方が良い。正しいルートを滑れば自然と忠チャンころばしに導かれる。忠チャンころばしは急斜面だがこのくらいなら快適！！短いが今回のルートで一番豪快な滑降が楽しめる部分だ。雪質もまあまあで楽しく滑り降りることができた。

■写真上　吾妻連峰の真っただ中で憩う。
■写真中　中大嶺を快適に滑る！！
■写真下　このコースの見せ場「忠チャンころばし」をダイナミックに滑るＮ井さん。

降りたところに林道があり、ここで再びシールを張り林道を上流側に少し歩くと橋がありそれを渡ってほんのひと登りで砂盛の東の鞍部に登り返す。ここでシールはお役御免、真下に落ちる沢は急で狭いので右岸の尾根を滑り左の沢に入る。ここも短いがルート中数少ない滑降スポット。気持ちよく滑れる。再び林道に合流して少し林道を滑ると大小屋川右俣を橋で渡り、この右岸を適当に林道をショートカットして滑っていく。傾斜が落ちてきたら大小屋川左俣を橋で渡るので素直に林道を滑る。左俣を橋で渡ってしばらく林道を滑ると放牧場の真っ白な雪原が左側に現れる。人工の雪原だが非常に美しい。傾斜がほとんどない雪原だが何とか板も走って滑って行ける。この辺りは雪が締まっていないと板が滑らず時間がかかりそうだ。放牧場の下の建物がある場所で再び先程の林道に合流。ところどころ登り気味の場所もあって疲れるが我慢して板を進めていくと、小さな「大沢駅」→の道標があり、薮っぽい山道に入る。ここも部分的に登りがあって鬱陶しいが、やがて緩い下りになれば間もなく鉄道の遺跡のようなところを通り、大沢駅にデポした我々の車が見えてきた。

15:30、大沢駅着。全行程約16km、標高差約1500mのロングコースを5時間ちょっとで走破でき、大

きな登り返しもなく、スキーの機動力を最大限に利用して快適なツーリングができるのが大沢下りの最大の魅力だ。豪快な滑降はほとんどないが素晴らしい景色と機動力に魅かれて、つい何回も訪れてしまう。そういう意味ではやはり名ルートと呼ぶにふさわしいルートだといえるだろう。吾妻の雄大でおおらかな風景が懐かしく感じるころ、また訪れてしまう、きっとそんな気がします。

　さて、充実感をそのままに小野川温泉に直行、いい温泉と快適でコスパ抜群の宿！！これもここの魅力ですね！！

（明日に続く）

■写真　人口施設だけど美しい牧草地の雪原を滑る。

■コースタイム

リフト終点（9:50）～（10:22）中大嶺（10:29）～（10:43）人形石～（11:56）明月荘（12:32）～（15:30）大沢駅